

らいぶらりい 7月号

平成26年7月2日(水)

豊明中学校 学校図書館

夏は怪談で涼もう・・・ 夏は怪談で涼もう・・・

『首七つ』 ひろのみずえ

表題作「首七つ」は、あの世に導かれる女子中学生、「ヤドカリ」は、夜の辻で女に取り憑かれる女子高校生、「早起きは三枚のせんべい」は、早朝、奇妙な老婆に誘われ、せんべいを食べさせられる少女・・・ごく普通の生活の中で、いつしか不可解な出来事に巻き込まれていく少女たちの追いつめられた恐怖を淡々と描く7編のホラー小説。

『瓜ふたつ』 ひろのみずえ

大樹お兄ちゃんが2人いた！ 友だちの直子も2人、美弥子さんも2人！

そして、みんな消えていった。私の前から・・・

葵は、洞窟の中で友だちの海(うみ)と待ち合わせするのだが・・・

どこにでもひそんでいるドッペルゲンガーの恐怖の世界へ読者を誘います。



『恐怖のお泊まり会 死者から届いたメール』 PJナイト (新着図書)

「だれが送ってきたんだろう？ こんなメールアドレス、知らない。みんなは？」

手がひどく震えて、気をつけないと携帯を落としてしまいそうだった。

アビーは、仲良しの友だち3人を家に呼んで、お泊まり会を開く。秘密の告白か、罰ゲームを選ぶ「告白ゲーム」でアビーは好きな人を告白するはめに。ところが深夜、謎のメールがアビーの携帯に届く。送信者は、もうこの世にいないあの子なの——!? 女の子のためのホラー・シリーズ第1巻！

『六番目の小夜子』 恩田陸

「あなたも赤い花を活けに来たの？」少女はゆつくりとそう言った。

津村沙世子——とある地方の高校にやってきた、美しく謎めいた転校生。高校には十数年間にわたり、奇妙なゲームが受け継がれていた。三年に一度、サヨコと呼ばれる生徒が、見えざる手によって選ばれるのだ。そして今年は、「六番目のサヨコ」が誕生する年だった。学園生活、友情、恋愛。やがては失われる青春の輝きを美しい水晶に封じ込め、漆黒の恐怖で包みこんだ、恩田陸のデビュー作。

『夜市』 恒川光太郎

大学生のいずみは、高校時代の同級生・裕司から「夜市にいかないか」と誘われた。裕司に連れられて出かけた岬の森では、妖怪たちがさまざまな品物を売る、この世ならぬ不思議な市場が開かれていた。夜市では望むものが何でも手に入る。小学生のころに夜市に迷い込んだ祐司は、弟と引き換えに「野球選手の才能」を買ったのだという。野球部のヒーローとして成長し、甲子園にも出場した裕司だが、弟を売ったことにずっと罪悪感を抱いていた。

そして今夜、弟を買い戻すために夜市を訪れたというのだが——。

『八月の暑さのなかで ホラー短編集』 金原瑞人編訳

英米ホラー小説に精通した訳者自らが編んだアンソロジー。 E. A. ポー、サキ、ロード・ダンセイニ、フレドリック・ブラウン、そしてロアルド・ダールなど、短編の名手たちによる怖くてクールな13話。



学校図書館からのお知らせ

出校日の開館

8月 4日(月)

8月 18日(月)

ST 後から下校時刻までの短い時間ですが、出校日にも図書館は開館します。

夏休みの貸し出し

期間 7月10日(木)～9月10日(水)まで

冊数 1人3冊まで

※ただし、課題図書は1人1冊まで
課題図書とそれ以外の本の組み合わせは3冊まで借りることができます。

しおりプレゼント

夏休みの貸し出し期間中、学校図書館でマンガ以外の本を借りた人には、素敵な「しおり」をプレゼントします。なくなり次第終了です。早めに借りに来てください。

読書感想文おすすめの本

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

第60回 青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が決まりました。

中学校向きは以下の3冊です。(課題図書は一人1冊まで借りられます。)

『星空ロック』 那須田 淳

『語りつく者』 パトリシア・ライリー・ギフ

『ホタルの光は、なぜだらけ：光る生き物をめぐる身近な大冒険』 大場 裕一

『糸子の体重計』 いとうみく (新着図書)

食べることが大好きな細川糸子、クールビューティー・町田良子、大柄な転校生・高峯理子、町田良子にあこがれる坂巻まみ、細川糸子とは給食の天敵・滝島径介……5人の子どもの平凡な日々。つらいこと、悲しいことはしょっちゅうだし、どうしようもなく苦しいときもやってくる。そんなとき、クラスを見渡せば、細川糸子がいる。誰に対しても真っ正面から向き合い、しっかりと相手を見て、思ったことを口にする。大人も子どももじただたしてけんめいに生きている、そんな地に足のついた読みごたえある物語。



『このTシャツは児童労働で作られました。』 シモン・ストランゲル

皆さんは、普段自分が着ている服がどこでどのように作られたものか考えたことがありますか。あるいは、普段使っている文房具や、食べているものなど身の回りのものがどこから来ているのか…? 「安くモノが買える」とはどんなことを意味しているのか?

ノルウェーの平凡な女子高校生、エミーリエは、ある日ショッピングセンターで男の子が値札にシールを貼っていることに気が付いた。シールには、「このTシャツは児童労働で作られました。」そして〈世界を救おう〉というブログのアドレスが。バングラデシュのリーナとノルウェーのエミーリエ。遠く離れた二人の少女は、一枚のTシャツでつながっていた。

恋愛や友情模様を交えながら、さまざまな現実をみずみずしく描いた青春小説。スリリングで面白いのに、深く考えさせられるノルウェーの話題作。

